

令和2年度 公益財団法人 吉野川紀の川源流物語 事業計画書

流域をはじめ都市部の人々と水源地域を結び、もってそれらの人々の公共利益に寄与することを目的として、吉野川・紀の川の源流部を拠点に、その自然的価値、文化的価値を大切にし、流域をはじめ都市部の人々にこれを伝え、共に考え、行動するため、体験学習・交流活動を通じて、広く啓発や環境教育に関する事業を行います。そして、これに必要な拠点施設や関連公共施設の維持管理・運営に関する事業を行い、源流域の自然環境保全活動に努めます。

教育において川上村や流域の資源を活用する「紀の川じるしのESD」の展開を着実に進めており、評価をいただいています。訪れた人の気持ちを満たすだけに留まらず、社会的な価値づけのために、引き続き活動の精度を高め、学校教育機関等での教材化に取り組んでもらい、その成果が多様なステークホルダーから発信されるように取り組みます。

公益事業Ⅰ 環境学習・体験プログラムの提供にかかわる事業

1. 「吉野川源流－水源地の森」体験プログラムの提供

- ・定例水源地の森ツアー (3回)
- ・団体毎の受け入れ (随時)

2. 森づくり体験プログラムの提供

- ・源流学の森づくり (ボランティアにより2回程度)
- ・関労かわかみの森活動等受け入れ (2回)

3. 体験学習を通じた環境教育の実施及び支援

- ・団体毎のエコツアー受け入れ (随時)
- ・学校教育団体支援 (随時)
- ・「森と水の源流館授業づくりセミナー」(近畿ESDコンソーシアム)
- ・

4. 水源地域の環境保全にかかわる人材の育成

- ・源流人会の運営
- ・草刈りボランティアの機会づくり (2回)

公益事業Ⅱ 流域交流・啓発にかかわる事業

1. 水源地の自然及び文化を介した交流行事の実施
 - ・源流のつどい
(御船の滝水瀑、他地域の環境活動団体との交流など)
2. 水源地の環境保全の普及啓発のための行事等の開催、印刷物等の刊行、電子情報媒体の作成
 - ・流域連携・交流、啓発・PR (ESDの視点を強調 随時)
 - ・川上村環境基本計画推進業務
(村民の自主的な環境学習会支援、流域学習会等)
 - ・機関誌『ぼたり』刊行 (3回)
 - ・ホームページメンテナンス (通年)
 - ・森守募金キャンペーン (おはなしカーニバルと連携)
 - ・源流シンクタンクの運営 (適宜)

公益事業Ⅲ 源流域の自然や歴史の調査・研究にかかわる事業

※川上村より地域おこし協力隊1名の受け入れを行い、調査・研究及び発信を強化

1. 水源地及び流域における参加型観察調査会の実施
 - ・吉野川紀の川しらべ隊 (4回)
 - ・旧白屋地区の定期観察と発信 (各季)
2. 「吉野川源流－水源地の森」自然実態調査の実施
 - ・水源地の森自然実態調査 (通年 両生類等調査)
 - ・水源地の森下層植生調査 (4回)
3. 源流部における斜面崩壊地での対策実験及び経過観察の実施
 - ・シカ害防止柵や土留め柵設置箇所の観察

公益事業Ⅳ 拠点公共施設の管理・運営にかかわる業務

1. 展示を通じて情報発信を行う施設の管理
 - ・森と水の源流館管理 (通年)
2. 源流部での体験活動の拠点となる森とこれに附帯する施設の管理
 - ・水源地の森管理 (通年)
 - ・水源地の森交流施設管理 (通年)

収益事業Ⅰ ミュージアムショップ事業

- ・ミュージアムショップ事業 (通年)

収益事業Ⅱ 受託事業

- ・和歌山市民の森づくり (和歌山市)
- ・水のつながりプロジェクト (川上村)
- ・吉野川紀の川型流域連携モデルの具現化業務 (川上村)
- ・東京海上日動火災株式会社 Green Gift 地球元気プログラム
(日本 NPO センター)
(いずれも予定)